

はじめに

秘教や神話の伝統では、人は二重の生命を持つと考えられる。

ひとつは大地から生まれたこの物質という肉体としての生命。

そしてもうひとつは星の世界からやってきた霊的な生命。

15世紀のフィレンツェで活躍した哲学者にして占星術師、

そして何よりも医師であったマルシリオ・フィチーノは

自らを肉体のみならず「魂の」医師でもあったと述べたというが、

その背景にはこの思想が反映されていたのかもしれない。

伝統的な西洋社会における世俗の権力と精神的な権力の二重性も、

この背景を考えると理解しやすくなるだろう。

人には2人の大いなる「父」が存在する。

ひとりはこの世俗の社会における統治者「皇帝」(王)であり、

もうひとは霊的権威者としての「教皇」である。

彼らはタロットの札の中で強くその存在感を放っている。

「皇帝」と「教皇」はそれぞれのかたちで人々を導き、統治する。

彼らは社会の「現実」としても、あるいは一人ひとりの内的世界にも存在する。

僕たちは彼らといかに対峙していくことができるだろうか。

鏡 リュウジ



ジャン＝オーギュスト＝ドミニク・アングル
《玉座のナポレオン》 1806 軍事博物館蔵（パリ）



ウェイト＝スミス版〈皇帝〉

Waite-Smith Tarot

1910 イギリス/ロンドン 夢然堂蔵

冠に笏、宝珠といった権力の象徴を身につけ、威厳に満ちた姿を見せる「皇帝」。現実世界では帝位（王位）をめぐる幾多の争いが繰り返されてきたが、タロットの「皇帝」は揺るぎない秩序と安定を象徴し、絶対的な支柱の役割を担う。



皇帝



ヴィスコンティ・ディ・
モドローネ・タロット
〈皇帝〉

Visconti di Modrone Tarot
1445頃 イタリア
イエール大学図書館蔵 (ニューヘイブン)

2段になった台座に座した「皇帝」は軍事権を手に行っていることを示すのか、武装しており、その大きな帽子の鏢と胸に皇帝権の象徴である鷲^{つば}を見ることができる。その周囲には4人の従者がおり、右下の従者が王冠をささげようとひざまづいている。



名画に見る〈皇帝〉

『マネッセ写本』より
《ハインリヒ6世》
1300頃 ハイデルベルク
大学図書館蔵

中世ドイツの代表的な宮廷詩人の詩歌を収録した『マネッセ写本』は、神聖ローマ皇帝ハインリヒ6世から始まる。鷲は古くから権力の象徴として使われ、頭が2つある「双頭の鷲」も多用された。



ルヴァンのニコラ・コンヴェル版〈皇帝〉

Tarot of Marseilles by Nicolas Conver
1860年代頃 フランス/マルセイユ 夢然堂蔵



カモワンのニコラ・コンヴェル版〈皇帝〉

Tarot of Marseilles by Nicolas Conver
19世紀末 フランス/マルセイユ 夢然堂蔵



ミュラー版〈皇帝〉

Tarot of Marseilles by J. Muller
19世紀末頃 スイス/シャフハウゼン 夢然堂蔵



ヴィアッソーネのピエモンテ版〈皇帝〉

Piedmont Tarot by Alessandro Viassone
1900前後 (?) イタリア/トリノ 夢然堂蔵

*各バックについては第1巻「愚者・奇術師」[17～19頁]で解説

皇帝からの メッセージ



★ 内なる「皇帝」はあなた自身 ★

「皇帝」は人間集団を現実的に統率する
強いリーダーシップを象徴する。

人々の集まりにおいて実際に決断を下し
彼らを指揮する立場という場合もあるし、
個人の内的な状況としては自分をしっかりと持って
社会と対峙していく力を示す場合もある。

このカードが出たときには、性別や年齢を問わず
リーダーシップをとる人物がキーパーソンとなる。
あなたの周囲にそんな人物がいないか見渡してみよう。

もちろん、そうした人物に人生の舵取りを
すべて任せてしまってはいけない。

あなた自身が内なる「皇帝」を見出し、
自分の人生に^{レスポンス}応答する責任を持たなければならないのだ。
あなたの人生の「皇帝」はあなた自身なのだから。

Love / 恋愛

自分自身で決断を下す。

強いリーダーシップや社会的なステイタスを持つ人。
まっすぐに揺るがない気持ちで接する人との恋が始まるかも。

場合によってはあなた自身のリーダーシップを示す。

また、周囲の状況に流されず常に自分自身を保つべき。
否定的に出た場合には強引な相手や強権的なふるまいを暗示。

Work / 仕事

まさに社会の中で自分自身の力をふるうことができるとき。

現実的な思考ができ、それに基づいて自分で方針を
正しく決定できるだろう。

人々の心を掌握してリーダーシップを握ることもできる。

それに伴う責任を担うことで成功に導かれる。
ただ、強引な手腕と読むこともできるので注意を。

Relationship / 対人関係

あなた自身が強いリーダーシップをとり、人々を導くことができる。

自分が正しいと思ったようにふるまうことが正解。

あなた自身の方針を曲げないようにすること。

ただし、寛大さを見失っては「暴君」になってしまう。

独善的にならないように周囲の意見に
耳を傾けつつ、指導力を発揮して。



ヤン・ファン・エイク《ヘントの祭壇画》より《全能の神》
1432 シント・バーフ大聖堂蔵（ヘント）



ウェイト=スミス版〈教皇〉
Waite-Smith Tarot
1910 イギリス/ロンドン 夢然堂蔵

教皇

聖 俗両界の最高権力者として「皇帝」とともに「教皇」も存在する。神の代理人を遊戯用のカードに登場させるのは不敬ととらえられることもあったが、その権威と神秘性は失われていない。神と人間の橋渡しをする「教皇」のタロットにおける役割とは？



神と人間を結ぶ 霊的な権威の担い手

「皇帝」が地上の権力の象徴だとすれば、「教皇」は神と人間を結ぶという霊的な権威の担い手である。世俗の権力と霊的な権威の2つの歯車が社会を回していると、少なくとも考えられていたのである。もっとも、現実の歴史の中ではこの2つの力はしばしば衝突していたわけだが……。

タロットに「教皇」札があることは、冷静に考えればとてもスリリングだ。不可侵の権威であるはずの神の代理人が遊戯用のカードの中に存在する。人々の心には社会のかしこまった階層や立場さえも遊びにになってしまう自由さがあったのだ。もちろん、そこには当然圧力もかかったわけで、時折「教皇」（と「女教皇」）の札はローマ神話のユピテルやユノーなどのより無害な存在へと置き換えられた。

また近代に入りタロットが秘教化した後、「教皇」はキリスト教の枠組みを超えて、霊的世界と人間界の橋渡しをする「神官」の

名前を与えられた。神官が取り次ぐ「聖なるもの」は、人間の尺度では簡単には善悪の区別がつけがたい。というのも善は容易に悪に墮してしまいうからだ。ゲーテの言うように、悪をなそうとして結果的に神に仕えるサタンのような存在もあろう。19世紀のオカルト主義者エリファス・レヴィはこの光と闇のパラドクスを、教皇の「祝福のサイン」の影が悪魔の顔になるように巧みに描き出している。



エリファス・レヴィ著
『高等魔術の教理と祭儀』
(1854) より
〈祝福のサイン〉

ヴィスコンティ・スフォルザ版 〈教皇〉

Visconti-Sforza Tarot
1480-1500頃 イタリア/ミラノ
モルガン・ライブラリー・アンド・
ミュージアム蔵 (ニューヨーク)

現存する最古のタロットのひとつより「教皇」札。教皇権の象徴である三重冠をかぶり、右手で祝福のサインを与えている教皇の姿がここにある。その黄金の衣に見える紋様は、同じヴィスコンティ・スフォルザ版の金貨のすートの紋様と似ている。またヴィスコンティ家の紋のひとつ、輝く太陽にも見える。





作者不明のパリジャンのタロット〈教皇〉

Tarot Anonyme de Paris
1600-50頃 フランス/パリ
フランス国立図書館蔵 (パリ)

天国の鍵と3本の横木が交差した十字架を持つ「教皇」が描かれている。他のバックの「教皇」札と異なるのは、その足元にスフィンクスと思しき謎めいた生き物が描かれていることだ。後のオカルト主義者ウィルトはここに古代からの秘教的伝統の残響を見ているが、どうだろうか。

マンテーニャのタロット〈教皇〉

Mantegna Tarot
1530-61頃 イタリア
大英博物館蔵 (ロンドン)

画家マンテーニャが制作したと誤って考えられていたカードセット。50枚からなるこのバックは通常のタロットとは異なり、この社会と宇宙の階層を描くとされ、教皇は人間界における最高の地位を示していた。



名画に見る〈教皇〉

ペドロ・ベルゲテ
《教皇グレゴリウス1世》
1495頃 油彩・金箔/板 85.5×70cm
カタルーニャ美術館蔵 (バルセロナ)

15世紀に描かれた肖像だが、グレゴリウス1世が即位したのは西暦590年。教皇は「神のしもべのしもべ」とであると称して教会や典礼などさまざまな改革を図り、「大教皇」という呼び名を持つ。



グラン・エティヤ
(タロット・エジプシャン)

Grand Etteilla or Tarot Égyptien
1875-99頃 フランス/パリ 鏡リュウジ蔵

18世紀末のカード占い師エティヤが制作した史上初の「占い専用タロット」。枚数こそ78枚と通例のタロットと同じだが、その構成は全く異なる。通し番号36のこの札は通常のタロットの「杯の王」に相当するが、「教皇 (Le Pape)」のタイトルもついている。グリモア社の冊子ではよき益をもたらし男性を象徴するという。

オズヴァルト・ヴィルト・タロット〈教皇〉

Oswald Wirth Tarot

1889 フランス/パリ フランス国立図書館蔵 (パリ)

19世紀末のオカルト主義者オズヴァルト・ヴィルトによるタロットの「教皇」。複雑な象徴的意味が付与されているが、面白いのはその三重冠への意味付けである。それは外的儀礼や伝統を示す第一の輪、魂を意味する第二の輪、さらに最も簡素で小さな輪が神への抽象的認識を表すという。3本の横木がある十字は、その7つの先端 (最も下を除く) が7つの惑星や音階を象徴しているのだそう。



ウェイト=スミス版〈教皇〉

Waite-Smith Tarot

1910 イギリス/ロンドン 夢然堂蔵

20世紀以降のタロット文化に決定的な影響を与えたのがこのウェイト=スミス版。天国の鍵、三重冠、三重の十字、祝福のサインなど伝統的な「教皇」札と共通する象徴が多く見られるが、ウェイトによれば彼は「秘儀の祭司」である。ただ、この祭司は「高等女司祭 (女教皇)」がより秘教的、内奥的な力を表すのに対して、外的、顕教的宗教の権力を示すという。